

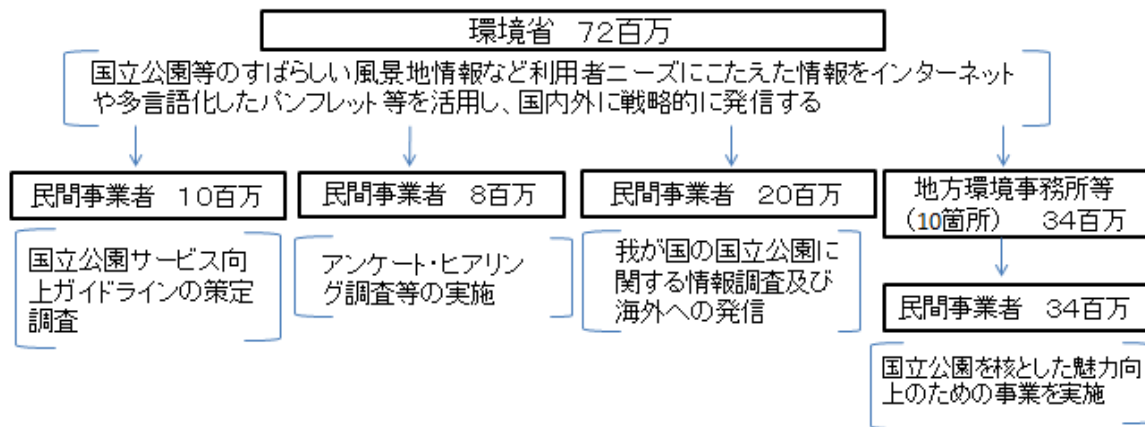
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	日本の自然を活かした地域活性化推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務課自然ふれあい推進室 国立公園課		室長 堀上 勝 課長 桂川 裕樹		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生 5-5 自然とのふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第1項		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園等の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業の目的を達成するに当たり、多言語化したパンフレット等による情報提供システムの充実、サービスの質の向上、地域との協働の推進、ジオパークと国立公園の連携、エコツーリズムへの支援、地域の専門家を活用した課題解決、展望施設や情報提供施設等について国立公園の魅力向上のための統一的な施設整備などの取組を実施する。さらに、地域との協働のために設置された協議会において決定された事項に基づき、民間団体等が行う活動について、事業費の2分の1を補助するとともに、地域の自然観光資源を活用した地域振興に取り組むエコツーリズム推進協議会に対して、ツアープログラム企画・立案等に要する事業経費の2分の1を交付金として助成する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	495	0	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
	計		—	—	—	495	0	
	執行額		—	—	—			
執行率 (%)		—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、国立公園等の自然観光資源を活かした日本観光の高付加価値化と、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供することを目的としており、定量的な目標は設定できない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	魅力向上モデル地域数		活動実績 (当初見込み)	地域	— (—)	— (—)	— (—)	— (4)
	国立公園協働型管理運営体制強化事業の実施地域数			地域	— (—)	— (—)	— (—)	— (7)
	ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業の実施地域数			地域	— (—)	— (—)	— (—)	— (10)
	エコツーリズムガイド養成事業			人数	— (—)	— (—)	— (—)	— (100)
	エコツーリズム推進アドバイザー派遣			回数	— (—)	— (—)	— (—)	— (25)
	エコツーリズム地域活性化支援事業			地域	— (—)	— (—)	— (—)	— (30)
	自然環境資源の持続的活用推進事業			箇所数	— (—)	— (—)	— (—)	— (10)
単位当たりコスト		—		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	3	0	新26-〇〇日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費に統合したため。				
	環境保全調査費	302	0					
	生物多様性保全推進交付金	190	0					
	計	495	0					

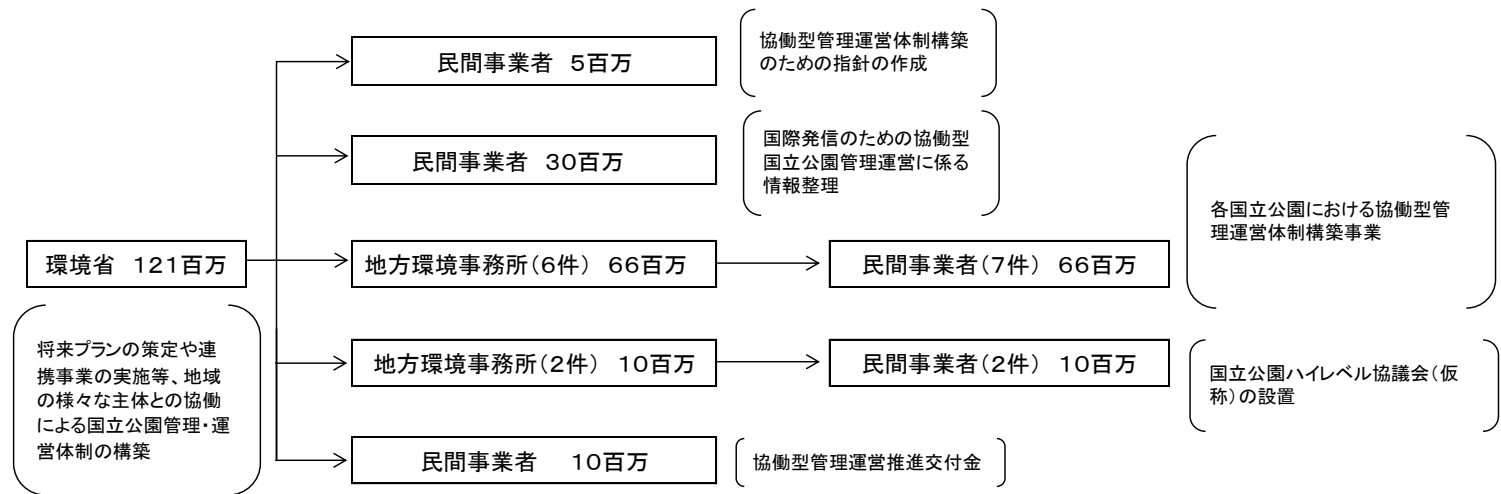
事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国内外の利用者ニーズに応える国際競争力のある魅力的な国立公園づくり等に寄与するものであることから、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定する等、競争性を確保した上で、適切な支出先を選定する。 また、交付金にあつては、交付額の上限を定め、受益者との負担関係を明確にする。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	本事業は、環境省の所管である国立公園の保護及び利用の推進を図るためのものであることから、他省庁との重複はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	本事業は国立公園の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与するものである。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

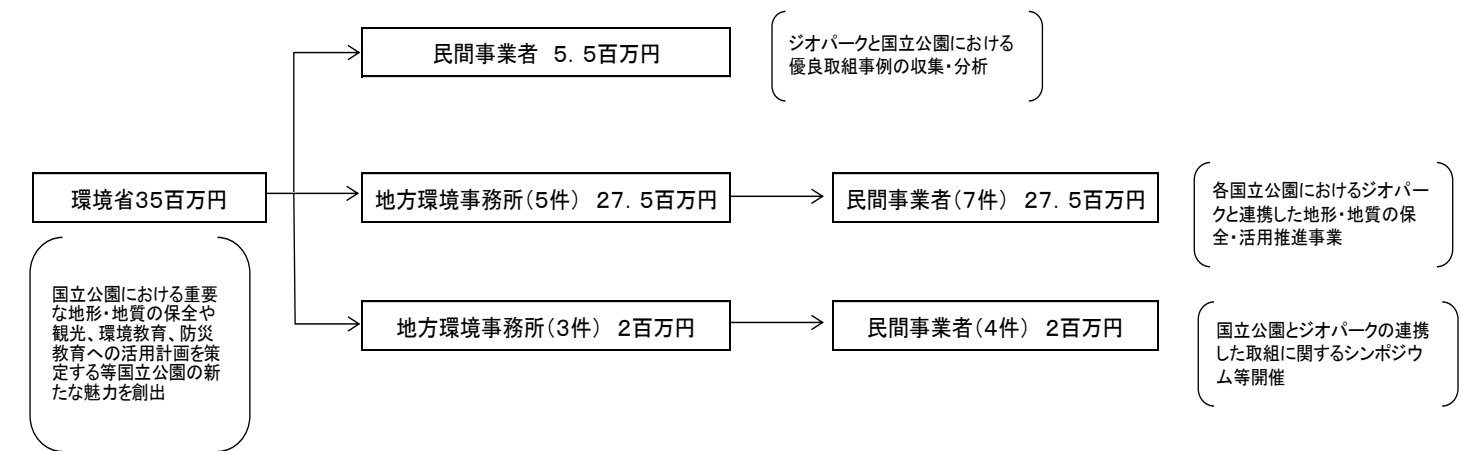
(1) 国立公園等魅力向上プロジェクト推進調査事業



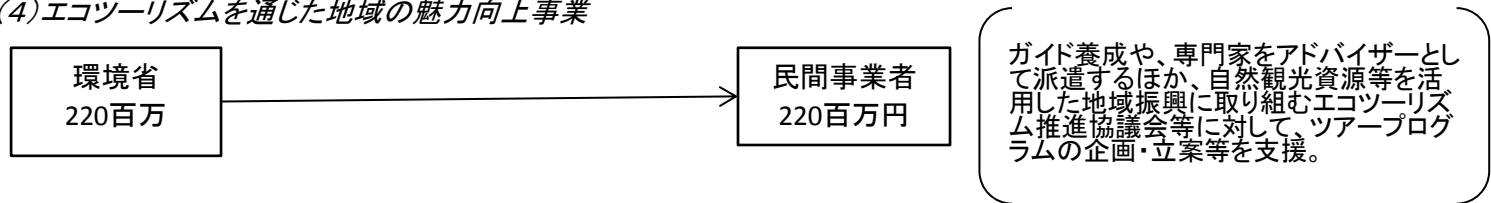
(2) 国立公園協働型管理運営体制強化事業



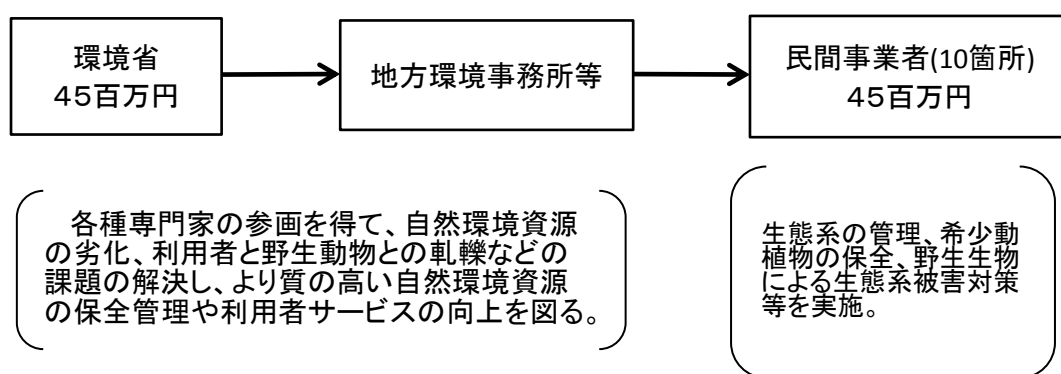
(3) ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業



(4) エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業



(5) 自然環境資源の持続的活用推進事業



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)